

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01458東川町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01458東川町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	自治振興会や町内会との連携を深め、ボランティアの確保を増やし、放課後における宿題の見守り等の学習支援の実施日数を前年度より上回るようにした。	町内会等との連携により、子供達が地域と関わる機会を増やし、休日や放課後等における学習活動等の見守りを増やすことで、学習支援の実施日数を前年度より上回るようにする。	学校以外で日常的に学習を行う児童生徒を増やす。	週に4時間以上、学校以外で勉強する児童生徒の割合(東川町教育委員会のアンケート調査)	35	%	40	40	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 -地域との連携を通して学習支援に関わるボランティアの確保が進み、見守り等の学習支援を充実することができた。ボランティア間の情報共有を密にすることで、安心して学習に取り組む環境づくりが推進され、地域全体で子どもの学びを支える体制づくりが進んだ。充実した放課後事業の提供により学習意欲が高まることで、学習定着へつなげることができた。	https://higashikawa-town.jp/portal/top/information/1539
01458東川町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	放課後等に多様な体験活動をさせることが望ましいと思いつつも、多忙な日々を過ごす児童生徒にとつて、なかなか参加できないことが家庭の共通の課題となっている。	多忙な日々を過ごす児童生徒であっても、その隙間に学校授業の内容以外で、興味関心のあることに触れ親しむ機会を参加しやすい条件で提供した。	少年団活動や文化活動団体と連携し、休日や放課後等で、子ども達が普段経験のできない活動を提供することで多様な経験を創出する。	土曜日の多様な体験活動講座に参加する児童生徒を増やす。	講座の参加人数	30	人	35	60	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 -作文教室、登山教室等層内外を問わず事業を展開することで、体験の幅が広がり、興味関心を持つためのきっかけづくりの場を提供することができた。 -体験活動への参加が新たなコミュニティ創出につながり、学校活動、放課後活動への参加意欲を高めるきっかけとなった。	https://higashikawa-town.jp/portal/top/information/1539